

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 02 健康づくりの推進

主管課 保健センター

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<p>市の人口は、15歳未満の年少人口は年々減少している反面、65歳以上の高齢者人口は増加しており、少子・高齢化がさらに進んでいる。</p> <p>少子化を背景にした子育て環境は、育児不安、虐待や青少年期の問題行動など深刻化する傾向にあるとともに、心の健康づくりに関しては、年齢性別の枠を超えた取り組みが重要性を増している。</p> <p>また、平成20年度からの医療保険制度改革に伴う医療保険者による特定健康診査・保健指導制度の開始により、地域と職域が密接に連携し、生活習慣病を改善する体制が整備されてきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平均寿命は伸びているものの、介護や入院の必要がなく加齢できる健康寿命の延伸が課題となっている。 生活習慣病の早期発見、予防には、健康診査やがん検診を受診し、結果に基づく生活習慣の見直しや改善、医療機関受診などの措置が必要である。 生活習慣病のリスク要因を軽減し、重病化を予防する生活習慣を身につけることが必要である。 安心して医療サービスが受けられるよう関係機関と連携を図り、救急医療体制の確保や病診の連携などにより、地域医療体制の安定を図ることが重要である。

施策の目的

医療体制を充実するとともに、心身の健康づくりを進めることによって市民一人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできることを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民	意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)
	市民1人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできるよう、疾病や障がいを減らす(地域医療含む)。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
健康だと思う市民割合	%	82.5	-	77.4	81.2	↗
生活習慣病死亡率(人口10万人あたり)	人	429.3	-	-	514.5	400.0

施策の達成状況 (24年度)

健診受診率は、市の継続的な啓発活動に加え国の公衆衛生政策と連動した市の取組の効果もあり回復傾向にある。地域巡回健康教室の継続のほか、関係機関による市民が気軽にできる運動習慣定着のための取組も目立ってきており、健康意識の高まりが見られる。また、市民主体の健康づくり活動を推進する「地域健康づくり推進員」が関わる事業が一層充実してきた。国において予防接種、がん及び肝炎対策等の制度改革が進められており、今後も、国の疾病予防対策に連動した取組を進めるとともに、医療・保健サービスに関する効果的な情報提供方法の工夫を続けることで、成果を向上させるよう努めていく。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータル(千円)	4,270,582	4,305,556	4,589,281
事業費(千円)	3,868,478	3,914,373	4,196,146
人件費(千円)	402,104	391,183	393,135

01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進

基本事業の目的

健康診査・がん検診を通して、疾病を早期に発見するとともに、生活習慣病予防のために、健診事後指導を強化することにより病気の予防、生活習慣の改善が図られます。

対象 (誰を対象とした指標か)

成人

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

健康診査などにより疾病の早期発見・早期治療を図ると共に、生活習慣病予防の実践と予防知識を習得してもらう。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
健康診査・がん検診の受診率	%	57.6	-	61.6	62.5	↗
健診等で異常を発見された人のうち、指導又は治療を受けた人の割合	%	93.5	-	81.9	77.5	↗
かかりつけの医師をもっている市民の割合	%	52.6	-	58.0	56.6	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

健診受診率は、平成20年度には、特定健診の実施主体が医療保険者へと移管されたことに伴う混乱もあり低下したが、21年度以降は、継続的な市の啓発活動に加え、ピンクリボン運動など全国的な啓発活動の広がりや国策としてのがん検診推進事業等の効果もあり、回復傾向にある。身近な医療機関を通じた受診勧奨や健診制度の周知等に努めているとともに、受診により早期発見・早期治療に繋がるよう事後指導にも努めている。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	320,615	226,804	254,229
事業費(千円)	293,327	199,950	227,241
人件費(千円)	27,288	26,854	26,988

02 健康づくり活動の推進

基本事業の目的

「自分の健康は自分で守る」ことを基本として、家庭、学校、職場、地域、医療機関と連携した健康づくり活動を推進します。また、生活習慣病予防などの健康教育・健康相談を充実します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

家庭、学校、職場、地域が主体となった健康づくり活動が推進され、健康増進や疾病予防に関する知識が身につく、個々人にあった健康づくりを実践する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
健康を維持するために実践している項目数	項目	4.59	-	4.41	4.57	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

市内11カ所での地域巡回健康教室の継続、自主サークル活動の定着のほか、関係機関によって運動習慣定着のための取組が数多く行なわれている。市民が健康維持のために心がけていることに、朝食を毎日とる(72.8%)などがあり、健康意識の高まりが見られる。地域健康づくり推進員の活動では、推進員相互に協力して積極的にその地域の諸課題に対応した活動に取り組んでいるほか、22年度完成させたウォーキングマップを活用した取組など、江別・野幌・大麻の地区ごとにグループ化して講演会や運動教室などの事業が活発化している。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	41,173	48,842	49,868
事業費(千円)	7,865	10,766	11,601
人件費(千円)	33,308	38,076	38,267

03 母子保健の充実

基本事業の目的

妊産婦、乳幼児の健康管理のため各種健康診査を通して、母性保護と子の健やかな成長を図ります。また、両親学級や育児相談により、安心して子どもを産み育てることができる正しい知識が習得できます。

対象 (誰を対象とした指標か)

妊産婦、乳幼児と保護者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

親子が心身共に健康を保持・増進するための知識が得られ、具体的な方法がわかることで、実践できる。また、疾病の予防及び早期発見により健康障がいを防ぐことができる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
乳幼児健診(4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)平均受診率	%	96.5	96.8	97.2	96.2	97.0
乳幼児の健康診査に満足している人の割合	%	81.7	93.1	-	95.3	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

乳幼児健康診査の受診率は高い水準で維持している。健康診査で子どもの成長発達を確認するとともに、継続的に相談支援を要する親子への支援を行うことで、乳幼児の健康の保持増進と保護者の育児能力向上を図っている。両親学級には105組の夫婦が参加し、定例開催の親子健康相談は1,000人以上が利用するなど、子育ての学びや相談がしやすい環境となっている。また、地域子育てサロンや養育支援事業(虐待防止)などを通じ、関係機関や地域の民生委員・児童委員、自治会等とも連携し、地域で子育てを見守る体制が整ってきている。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	181,971	214,748	197,767
事業費(千円)	143,045	174,267	157,084
人件費(千円)	38,926	40,481	40,683

04 医療体制の充実

基本事業の目的

休日や夜間に安心して適正な医療サービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り救急医療体制の充実に努めるとともに、病診連携の強化などにより地域医療体制を充実し、多様化する医療ニーズに応えます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

適正な医療サービスが受けられ安心できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
休日当番対応医療機関数(内科小児科)	件	28	29	32	32	30
救急対応医療機関数(外科系)	件	6	6	6	6	6
人口10万人あたりの医師数	10万対、人	109.5	-	-	-	125.0

基本事業の達成状況 (24年度)

夜間急病センターの安定的な運営を図り、一次救急医療体制を確保している。市民の地域医療を確保については、病診・病病連携や、休日・夜間の当番医制の維持充実、救急医療として特に夜間の一次・二次救急体制の充実など、江別医師会をはじめ関係機関等との協力・連携強化に努めている。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,701,182	3,787,485	4,060,693
事業費(千円)	3,404,220	3,506,925	3,778,733
人件費(千円)	296,962	280,560	281,960